

# もんくなんか せいべつなんか 気にしない

神奈川県逗子市 小学5年  
安保 英菜

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

もんくいわれたり、せいべつとか全部気にしない！

お互いに

認めて褒めて

助け合い

東京都足立区 46歳  
小野 史

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

心にゆとりを持ってあらゆる人をありのまま受け入れたい。

# やりすぎが 結局差別を うみだすよ

埼玉県所沢市 47歳  
笠原 芳典

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

過度なまでに取り組むことで、かえって不利益な状況を生み出してしまいますことを危惧した想いです。

# みらいは 全いんの人 平等に

神奈川県逗子市 小学5年  
小塚 怜奈

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

みらいは全いんの人が平等にすること。

# せいべつは かんけいがないよ みな仲間

神奈川県藤沢市 小学4年  
四方 夏蓮

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

6 さいから 11 さいの子どものうち、一生学校に通うことができない女の子は、男の子のやく 2 倍です。それは、圧倒的なさべつだと私は思いました。

# 友達に 言葉も見た目も 関係ない

神奈川県藤沢市 小学4年  
鈴木 佐和

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

みんな違って良い、一人ひとりの個性を大切に、そしてみんな友達になれる！

# 今日からは 女子力よりも 人間力

神奈川県逗子市 小学5年  
竹内 都和

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

女子力もちよー大事だけど、人間力もすごい大事だからどっちも大切にしたい。

# オフィスの雑務 手伝うじゃなく 共にやる

神奈川県横浜市 56歳  
野口 亜矢

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

流し掃除や、シュレッダーのごみ捨て、ピンポン対応に電話対応、ほとんど女性が雑務を担っているのが平等になればいいと思いました。

# 違いこそ

# 力に変わる

# 社会かな

神奈川県横浜市 22歳  
萩原 知嘉

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

「違い」は性別だけではなく考えの違いなども表しています。人それぞれに考え方に違いがあるように性に関する考え方や捉え方も様々です。ですが、この「違い」は決して悪いものではありません。「違い」があるからこそ、様々な事柄を多面的にみることができ、より良い行動やアイデアが生まれます。「違い」を受け入れることができれば「力に変える」ことが出来ると感じました。そういった社会になっていけばよいなと思いを込めました。また、ジェンダー平等とは「違いを受け入れること」だと思われがちですが「自分らしくいる」ことでもあると聞いた

# 男子だって スカートはいていい みな仲間

神奈川県鎌倉市 小学4年  
平野 凜花

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

差別で嫌な思いをする人たちが、地球上からいなくなると良いなと思って書きました。

# 無意識に 使う言葉が 不平等

神奈川県逗子市 小学5年  
船山 美波

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

無意識に使った言葉が不平等につながるから、気を付けよう！という思いを込めた。

# 無意識の 「女なのに」が つくる壁

鹿児島県鹿児島市 中学2年  
松元 愛央

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

例えば、比較的男性がしていることが多い仕事に女性が就くと「女性なのにすごいね」と褒める人がたまにいます。他にも、女性議員、女性税理士など当たり前のように職業名の前に「女性」がついていることがあります。しかし、私はこれらの無意識な「女なのに」という認識が人々の中にあるうちは、本当の男女平等実現は不可能だと思います。

# 家事育児

# 父母の背を見て

# 子は育つ

千葉県八千代市 30歳  
嶺岸 大樹

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

我が家の様子でした。結婚し、家庭を築き、改めて母、奥さんを大切にしないといけないという気持ちを作品に。多様性、ジェンダーレスの時代を繋いでいけないといけない。

# それぞれの 自分らしさに 金メダル

神奈川県逗子市 小学5年  
森田 紗世

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

性別などに関係なく、自分らしさを大切にしてほしいです！みんなの個性はどれも1位という想いを込めて「金メダル」にしました！

# 多様性

# みんな一緒じゃ

# なくていい

北海道札幌市 47歳  
山本 美和

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

個々の違いを否定せず、むしろ価値として受け入れ、活かす社会を願う思いを込めました。私たちは、つい「普通」や「多数派」に合わせてしまいがちですが、一人ひとりには性別、年齢、国籍、文化、障がいの有無、考え方、得意なことなど、個性豊かな違いがあります。この違いこそが、社会を豊かにする源泉だと感じるし「一緒じゃなくていい」というフレーズは、「あなたのままでいい」「あなたの個性を活かしてほしい」という肯定と励ましです。皆が同じ意見や行動を求められる社会では、新しいアイデアやイノベーションは生まれません。異なる視点や経験がぶつかり合うことで、より良い解決策や未来が創造されます。ジェンダー平等を達成し（目標 5）、誰も置き去りにしない、包摂的な社会（目標 16）を実現するための、優しくも力強い宣言と言えます。誰もが自分らしくいられる安心感と、その個性が組織やコミュニティで歓迎される未来への希望を込めて考えました。

がんばろう

なにがあっても

じぶんらしく

神奈川県藤沢市 小学4年  
吉川 莉愛

作品について（説明や思いを自由にご記入ください）

世界中で差別などで悲しんだり辛い思いをしている人を思って、差別がなくなる未来をつくりたい。